

2023年卒
Vol.7

5月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2023 学生モニター調査結果 (2022年5月発行)

企業の採用広報開始から2カ月。2023年卒学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行った。内定率は6割を超える高水準ながらも、前年同期との差は縮まった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は65.0%。前年同期実績(58.4%)を6.6ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは、モニター全体の27.5%

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は24.7社。前年同期調査(27.1社)を約2社下回る
- ES提出社数は平均13.4社。筆記9.2社、面接7.4社。いずれも前年同期を下回る

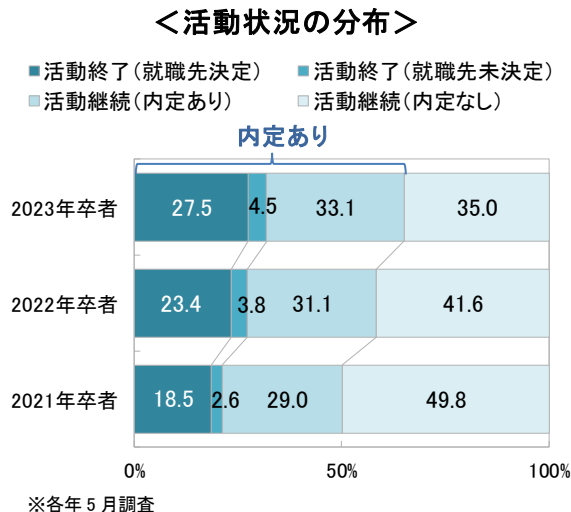
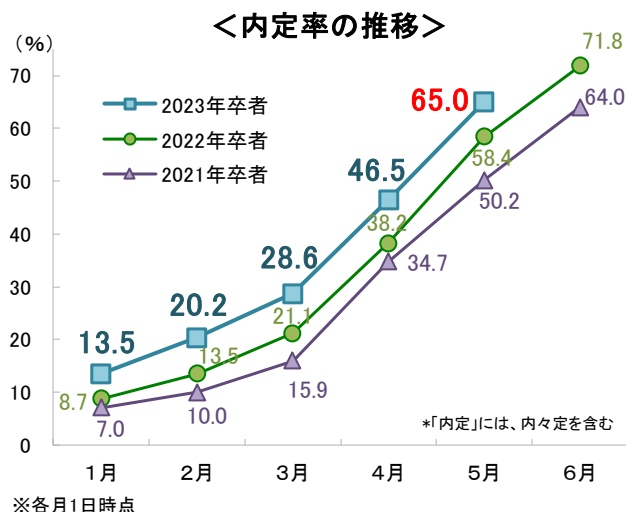
3. 就職活動の難易度

- 自身の就職活動「厳しい」45.1%。前年(54.3%)より大幅に減少。「やさしい」は17.9%

1. 5月1日時点の内定状況

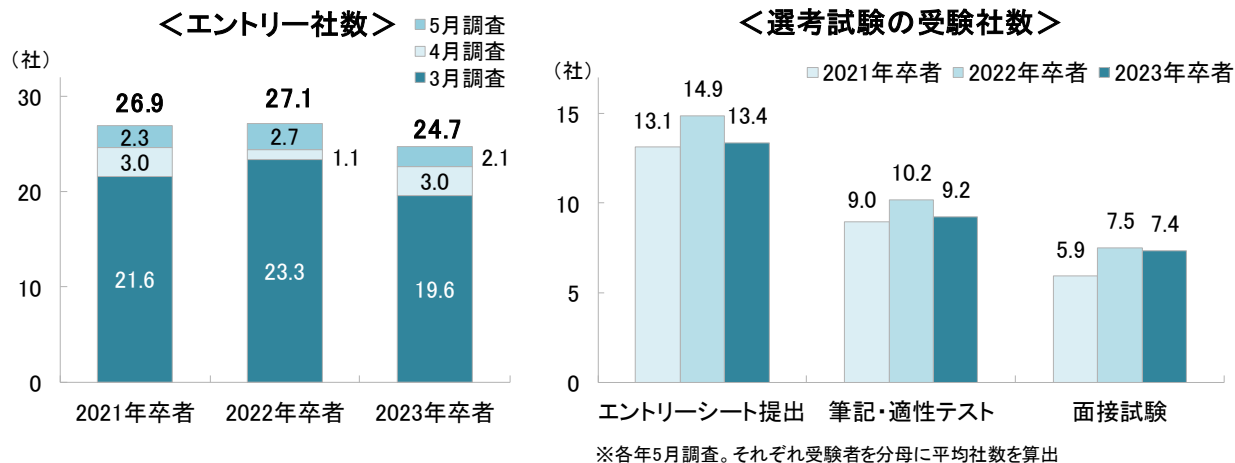
5月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の65.0%。先月(4月1日、46.5%)からの1カ月に18ポイント余り上昇し、6割を超えた。前年同期(58.4%)を6.6ポイント上回り、先月までに引き続き、早いペースで進行していることがわかる。ただ、先月調査に比べれば前年同期との差は縮まった(8.3ポイント差→6.6ポイント差)。

内定率は6割を超えるが、内定取得学生の半数以上が就職活動を継続していると回答。未内定者をあわせて全体の7割近く(68.1%)が活動中だ。内定の有無によらず多くの学生にとって、やはり選考解禁の6月が正念場になりそうだ。



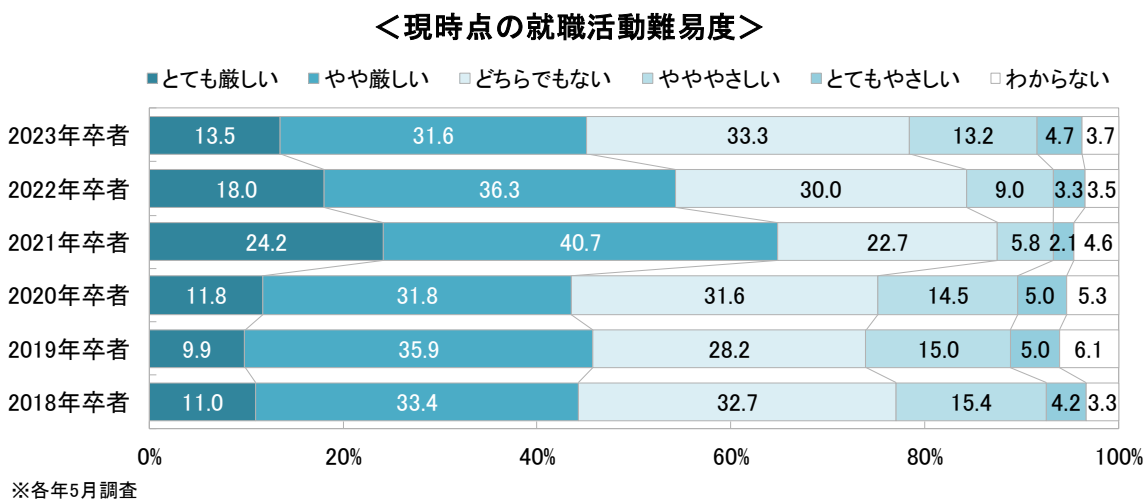
2. エントリー状況、選考試験受験状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 24.7 社。この 1 カ月で約 2 社増えたが、4 月調査に引き続き前年同期実績を下回った。選考試験の受験社数を見ると、ES 提出社数、筆記試験、面接試験のいずれも前年同期実績を下回っている。内定率が早くから高水準をマークする中で、学生の活動量は減少傾向が見られる。



3. 就職活動の難易度

ここまでの就職活動の感想を尋ねた。自身の就職活動を「厳しい」と感じている学生は、「とても厳しい」(13.5%)、「やや厳しい」(31.6%)を合わせて 45.1%で、「やさしい」の 17.9%を大きく上回る。しかし、経年で見ると、2021 年卒者で「厳しい」が急増したのちに 2 年連続で減少し、コロナ禍前の就活生に近い水準にまで戻っている。



調査概要

- 調査対象 : 2023 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,213 人 (文系男子 396 人、文系女子 361 人、理系男子 326 人、理系女子 130 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2022 年 5 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2023 学生モニター